

1961-5

- ① 島原半島周辺の海陸総合調査とその成果…………… 2
- ② 静岡県由比町の地すべり……………10
- ③ 人工ダイヤモンド②……………14
- ④ 滯英2年の生活—4—研究生活……………20
- ⑤ 各部署を尋ねて11……………26

地質ニュース No. 81

表紙の写真 石灰岩 本州路⑤

石灰岩はその化学成分 (Ca CO₃) 上比較的溶けやすく 従って その露岩は特有のはだを持つ 斜陽のかかるその質感に魅せられたのが この写真である 化石が入っていることが多く みなさまも留意していただきたい ところは宮城県気仙沼市の南端 階上の岩井崎で 気仙沼湾に面し潮吹岩があるところ それは古生代の石灰岩の断層に沿って海蝕洞が入り込み 途中で再び地上に抜けているため 押し寄せる波が この洞をつたって潮を吹き上げている (石)

オリンパスワイド Dズイコー 35mm F3.5 f11
100分の1秒 D-76 月光V-2 コレクター

島原半島周辺の 海陸総合調査とその成果

三池・唐津・佐世保・崎戸松島・高島および天草など九州の主要炭田にかこまれた この島原地域は 東西・南北ともおよそ130kmの広がりを持ち 海域・陸域のおの相なかばしている。しかも陸域の大部分は 新期の火山岩類と佐賀・筑後および熊本などの沖積平野に占められているので 調査は困難を伴ない その地下地質はほとんど明らかにされていない。

したがって この地域の地下における上記諸炭田の接壌状況 ならびに有望炭層の存否については 各方面から多大の関心がよせられている。

地質調査所では これら諸問題を解明するため 昭和31年度から3カ年計画(調査の進捗に伴ない種々の新事実が判明してきたので さらに3カ年延長し 36年度をもって完了する予定)のもとに島原地域の総合調査に着手した。

調査は一般地質調査・有孔虫化石および重鉱物組成の調査・試錐ならびに重力探査を併用するかたわら海底撮影調査や空中写真判読なども試みた。

この調査については 一部すでに地質ニュース(No. 31 No. 33 No. 59)に紹介されているので 若干重複する点があるかも知れないが その後の模様を述べてみよう。

今までに実施した調査

昭和31年度

- 1. 長崎県上七・平木場 一般地質調査・地形測量・重鉱物調査

- 2. 長崎県大村・江ノ浦 一般地質調査
- 3. 長崎県長与・伊王島 一般地質調査
- 4. 熊本県天草下島 有孔虫化石調査
- 5. 有明海北部 海底重力調査

昭和32年度

- 1. 熊本県天草下島北部 有孔虫化石調査
- 2. 長崎県長与・時津 一般地質調査・地形測量
- 3. 長崎県伊王島・高島 一般地質調査
- 4. 佐賀県唐津・長崎県大村 一般地質調査
- 5. 長崎県崎戸松島 一般地質調査
- 6. 熊本県天草下島西海岸 重鉱物調査

昭和33年度

- 1. 長崎沖・大村湾 海底撮影調査
- 2. 有明海南部 海底重力調査
- 3. 長崎県下 陸上重力調査
- 4. 長崎県長与 試錐(550m)

昭和34年度

- 1. 鹿児島県上嶺島 一般地質調査・重鉱物調査
- 2. 熊本市周辺・宇土半島 一般地質調査
- 3. 伊王島・西彼杵半島・唐津 有孔虫化石調査
- 4. 佐世保市周辺 一般地質調査
- 5. 長崎県西方海域 海底重力調査

昭和35年度

- 1. 長崎県大村湾・五島・九十九島海域 海底重力調査
- 2. 佐賀・長崎県下 陸上重力調査
- 3. 長崎県佐世保市下小高島 試錐(900m)
- 4. 唐津・崎戸松島炭田 重鉱物調査
- 5. 佐世保・唐津・諫早炭田 一般地質調査
- 6. 熊本県天草下島東部 一般地質調査
- 7. 佐賀・長崎・熊本県下(総括) 一般地質調査